



## 2026年4月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月10日

上場会社名 株式会社 柿安本店 上場取引所 東  
 コード番号 2294 URL <https://www.kakiyasuhonten.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤塚 保正  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 正木 崇彦 TEL 0594-23-5500  
 定時株主総会開催予定日 2026年7月24日 配当支払開始予定日 2026年7月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年7月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2026年4月期の連結業績（2025年5月1日～2026年4月30日）

#### （1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期	36,072	△0.1	1,426	△4.9	1,473	△4.2	811	15.7
2025年4月期	36,104	△2.6	1,500	△31.8	1,538	△31.1	701	△50.0

（注）包括利益 2026年4月期 1,260百万円（96.9%） 2025年4月期 640百万円（△58.4%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年4月期	84.69	—	5.3	7.6	4.0
2025年4月期	71.50	—	4.3	7.5	4.2

（参考）持分法投資損益 2026年4月期 一百万円 2025年4月期 一百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年4月期	19,480	15,504	79.6	1,617.93
2025年4月期	19,196	15,044	78.4	1,570.68

（参考）自己資本 2026年4月期 15,504百万円 2025年4月期 15,044百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年4月期	1,541	△657	△826	8,052
2025年4月期	1,746	△2,954	△905	7,995

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年4月期	—	0.00	—	85.00	85.00	814	118.9	5.2
2026年4月期	—	0.00	—	85.00	85.00	814	100.4	5.3
2027年4月期（予想）	—	0.00	—	85.00	85.00		101.8	

### 3. 2027年4月期の連結業績予想（2026年5月1日～2027年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	△0.2	1,400	△1.9	1,450	△1.6	800	△1.4	83.50

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、2027年4月期の連結業績予想より第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年4月期	12,446,700株	2025年4月期	12,446,700株
2026年4月期	2,863,537株	2025年4月期	2,868,617株
2026年4月期	9,580,534株	2025年4月期	9,803,374株

(参考) 個別業績の概要

2026年4月期の個別業績 (2025年5月1日～2026年4月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期	34,919	0.1	1,398	△5.4	1,496	△2.9	837	18.4
2025年4月期	34,899	△2.3	1,477	△29.8	1,540	△28.8	707	△47.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期	87.45	—
2025年4月期	67.89	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2026年4月期	19,134		15,301		80.0		1,596.72	
2025年4月期	18,985		15,041		79.2		1,570.40	

(参考) 自己資本 2026年4月期 15,301百万円 2025年4月期 15,041百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(表示方法の変更に関する注記) .....	13
(セグメント情報等の注記) .....	13
(1株当たり情報の注記) .....	17
(重要な後発事象の注記) .....	17
4. その他 .....	17
役員の異動 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2025年5月1日～2026年4月30日）におけるわが国経済は、景気が緩やかな回復基調にある中で、雇用・所得環境の改善により個人消費に持ち直しの動きがみられました。

その一方、長引く物価上昇や米国通商政策による影響に加え、中東情勢をはじめとする地政学的リスクなど、先行きに対する不透明感が増しております。

当社グループの属する食関連業界におきましても原材料価格の上昇や労働力不足の深刻化が大きな影響を及ぼしているほか、家計の節約志向は依然として根強いなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当社グループはお客様にお喜びいただける高付加価値・高品質な商品やサービスの提供に努めるとともに、既存店の収益改善のほか、新商品や季節商品をはじめとする販売施策により需要創出を図りました。また、様々な人気アニメーションのデザインを施した商品展開や法人開拓など販路拡大にも積極的に取り組みました。

出退店につきましては、「柿安ダイニング 伊勢丹浦和店」、「口福堂 イオンモール須坂店」、「ジョイナス横浜精肉店」を出店し、百貨店閉店によるものを含め15店を退店しました。

#### <出退店の状況>

区 分	出 店	退 店
精 肉 事 業	1店	3店
惣 菜 事 業	1店	4店
和 菓 子 事 業	1店	3店
レ ス ト ラ ン 事 業	—	5店
食 品 事 業	—	—
合 計	3店	15店

以上の結果、当連結会計年度の売上高は36,072百万円（前期比0.1%減）、営業利益は1,426百万円（同4.9%減）、経常利益は1,473百万円（同4.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は811百万円（同15.7%増）となりました。

各セグメントの売上高の状況は次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)	構成比 (%)
精肉事業 (百万円)	13,573	37.6
惣菜事業 (百万円)	12,821	35.5
和菓子事業 (百万円)	6,852	19.0
レストラン事業 (百万円)	1,298	3.6
食品事業 (百万円)	1,525	4.2
合計 (百万円)	36,072	100.0

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(a) 精肉事業

精肉事業につきましては、2026年2月9日の年に一度の肉の日に、WEB予約システム「ニクヨヤク」を活用し、松阪牛や黒毛和牛のすき焼食べくらべ袋等を販売しました。

また、3月には一部の店舗にて、当社のオリジナルブランド牛『三重 柿安牛』の特別販売会を実施し、柿安牛1頭セールやお買い得な感謝袋等をご用意したところ、大きな反響をいただき、これを受けて対象店舗を拡大するとともに、定期開催する運びとなりました。

出退店につきましては、「ジョイナス横浜精肉店」を出店し、3店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は13,573百万円（前期比1.7%減）、セグメント利益は1,020百万円（同31.3%増）となりました。

(b) 惣菜事業

惣菜事業につきましては、看板商品の大海老に特製のバジルマヨソースをからめた『大海老マヨ～ジェノパソース～』や自慢のローストビーフに九条葱などを巻いた『牛もも肉の九条葱巻き 柚子胡椒の香り』等、新たなアレンジ商品を展開しました。

また、新商品として手作りハンバーグを中心に魚や野菜等をバランスよく詰め合わせた『春爛漫 10品目の美彩御膳』を販売するなど、こだわりある商品開発にも注力いたしました。

出退店につきましては、1店を出店し、4店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は12,821百万円（前期比0.0%増）、セグメント利益は916百万円（同21.8%減）となりました。

(c) 和菓子事業

和菓子事業につきましては、定番商品に加え四季折々の季節感あふれる商品を提供しております。

3月には、いちご入り桜餅『いちご桜』や『いちご大福(桜)』といった春を彩る商品を展開しました。

また、今年155周年を迎えることを記念したお値打ちな感謝袋をご用意するなど、多くの人に来店いただける施策を実施しました。

出退店につきましては、1店を出店し、3店の退店を行いました。

この結果、当事業の売上高は6,852百万円（前期比3.3%増）、セグメント利益は388百万円（同0.2%減）となりました。

(d) レストラン事業

レストラン事業につきましては、昨年4月に改装オープンした「グリル&カレーカキヤス EXPASA御在所店」では新たにロースステーキシリーズや、お持ち帰り用として『牛めし&ハンバーグ弁当』をご用意する等、サービスエリアならではのメニューを展開しました。また、中華ビュッフェ専門店「上海柿安ららぽーとTOKYO-BAY店」では、『北京ダック風 ローストビーフ巻』を新たにメニューに加えるなど、満足度の向上に努めました。出退店につきましては、5店の退店を行いました。この結果、当事業の売上高は1,298百万円（前期比3.4%減）、セグメント損失は21百万円（前連結会計年度は1百万円のセグメント損失）となりました。

(e) 食品事業

食品事業につきましては、昨春に販売を開始した『柿安 瓶詰シリーズ』から今年4月に第2弾として『松阪牛すじ煮 味噌』や、複数の『マヨソース』など、新たに8種類を商品ラインナップに加えました。この結果、当事業の売上高は1,525百万円（前期比2.1%増）、セグメント利益は99百万円（同30.6%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ283百万円増加し、19,480百万円となりました。

流動資産は40百万円増加し、11,571百万円となりました。

主な要因は、現金及び預金の増加57百万円等であります。

固定資産は243百万円増加し、7,908百万円となりました。

主な要因は、退職給付に係る資産の増加349百万円、投資有価証券の増加343百万円、繰延税金資産の減少234百万円、建物及び構築物の減少202百万円であります。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ176百万円減少し、3,975百万円となりました。

流動負債は139百万円減少し、3,490百万円となりました。主な要因は、未払金の減少135百万円等であります。

固定負債は37百万円減少し、484百万円となりました。

主な要因は、資産除去債務の減少24百万円等であります。

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ460百万円増加し、15,504百万円となりました。

主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益811百万円の計上による増加、退職給付に係る調整累計額の増加226百万円、その他有価証券評価差額金の増加222百万円及び剰余金の配当による減少814百万円等であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ57百万円増加(前連結会計年度比0.7%増)し、8,052百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,541百万円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益1,362百万円に対し非資金損益項目等の調整を加減した営業取引による収入2,002百万円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額485百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は657百万円となりました。収入の主な内訳は、差入保証金の回収による収入13百万円等であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出460百万円等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は826百万円となりました。支出の主な内訳は、配当金の支払額812百万円等によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、長引く物価上昇や中東情勢をはじめとする地政学リスクの長期化により、原材料価格の高騰が続くことに加え、深刻な労働力不足の影響もあり、先行き不透明な状況にあります。

当社グループは、このような経営環境の中でも、家庭内食、中食、外食を擁する総合食品企業として、変化する消費者のニーズに柔軟に対応するとともに、成長し続ける会社を目指してまいります。

これらを踏まえて、2027年4月期の業績予想につきましては、売上高36,000百万円、営業利益1,400百万円、経常利益1,450百万円、親会社株主に帰属する当期純利益800百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性や企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当連結会計年度 (2026年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,995	8,052
売掛金	2,502	2,427
商品及び製品	382	404
仕掛品	429	448
原材料及び貯蔵品	163	167
その他	57	70
流動資産合計	11,530	11,571
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,750	2,547
機械装置及び運搬具（純額）	257	295
工具、器具及び備品（純額）	659	606
土地	2,119	2,119
リース資産（純額）	48	35
建設仮勘定	0	—
有形固定資産合計	5,835	5,604
無形固定資産	182	172
投資その他の資産		
投資有価証券	219	562
繰延税金資産	236	1
差入保証金	671	679
退職給付に係る資産	312	662
その他	207	224
投資その他の資産合計	1,647	2,131
固定資産合計	7,665	7,908
資産合計	19,196	19,480

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当連結会計年度 (2026年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,278	1,215
未払金	503	368
未払法人税等	315	321
未払消費税等	132	202
契約負債	10	11
未払費用	913	896
賞与引当金	346	347
役員賞与引当金	10	16
株主優待引当金	46	48
その他	72	62
流動負債合計	3,629	3,490
固定負債		
資産除去債務	424	400
その他	97	84
固定負債合計	522	484
負債合計	4,152	3,975
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,269	1,269
資本剰余金	1,086	1,089
利益剰余金	18,438	18,435
自己株式	△5,900	△5,889
株主資本合計	14,893	14,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56	278
退職給付に係る調整累計額	94	321
その他の包括利益累計額合計	150	599
純資産合計	15,044	15,504
負債純資産合計	19,196	19,480

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
売上高	36,104	36,072
売上原価	16,525	16,737
売上総利益	19,579	19,334
販売費及び一般管理費	18,079	17,908
営業利益	1,500	1,426
営業外収益		
受取利息	4	20
受取配当金	5	7
受取保険金	0	—
その他	31	19
営業外収益合計	41	48
営業外費用		
その他	3	1
営業外費用合計	3	1
経常利益	1,538	1,473
特別損失		
固定資産除却損	83	19
減損損失	212	51
資産除去債務履行差額	—	33
その他	25	6
特別損失合計	321	110
税金等調整前当期純利益	1,216	1,362
法人税、住民税及び事業税	571	518
法人税等調整額	△55	32
法人税等合計	515	551
当期純利益	701	811
親会社株主に帰属する当期純利益	701	811

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
当期純利益	701	811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	222
退職給付に係る調整額	△65	226
その他の包括利益合計	△60	449
包括利益	640	1,260
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	640	1,260

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,269	1,080	18,627	△3,531	17,445
当期変動額					
剰余金の配当			△890		△890
親会社株主に帰属する 当期純利益			701		701
新規連結子会社の保有 する親会社株式				△2,381	△2,381
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		6		12	19
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	6	△189	△2,369	△2,552
当期末残高	1,269	1,086	18,438	△5,900	14,893

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包 括利益累計 額合計	
当期首残高	51	160	211	17,657
当期変動額				
剰余金の配当				△890
親会社株主に帰属する 当期純利益				701
新規連結子会社の保有 する親会社株式				△2,381
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				19
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4	△65	△60	△60
当期変動額合計	4	△65	△60	△2,612
当期末残高	56	94	150	15,044

当連結会計年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,269	1,086	18,438	△5,900	14,893
当期変動額					
剰余金の配当			△814		△814
親会社株主に帰属する 当期純利益			811		811
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		3		10	14
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3	△2	10	11
当期末残高	1,269	1,089	18,435	△5,889	14,905

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価 証券評価差 額金	退職給付に 係る調整累 計額	その他の包 括利益累計 額合計	
当期首残高	56	94	150	15,044
当期変動額				
剰余金の配当				△814
親会社株主に帰属する 当期純利益				811
自己株式の取得				△0
自己株式の処分				14
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	222	226	449	449
当期変動額合計	222	226	449	460
当期末残高	278	321	599	15,504

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,216	1,362
減価償却費	633	618
減損損失	212	51
賞与引当金の増減額(△は減少)	10	1
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5	6
株主優待引当金の増減額(△は減少)	46	1
受取利息及び受取配当金	△9	△28
資産除去債務履行差額	—	33
固定資産除却損	83	19
売上債権の増減額(△は増加)	42	74
棚卸資産の増減額(△は増加)	65	△45
仕入債務の増減額(△は減少)	56	△63
未払金の増減額(△は減少)	△167	△60
未払消費税等の増減額(△は減少)	△56	75
その他	41	△44
小計	2,171	2,002
利息及び配当金の受取額	8	24
法人税等の支払額	△433	△485
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,746	1,541
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	600	—
投資有価証券の取得による支出	—	△23
有形固定資産の取得による支出	△995	△460
有形固定資産の売却による収入	0	7
差入保証金の差入による支出	△57	△41
差入保証金の回収による収入	13	13
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,381	—
その他	△133	△153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,954	△657
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△14	△14
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△890	△812
財務活動によるキャッシュ・フロー	△905	△826
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,112	57
現金及び現金同等物の期首残高	10,108	7,995
現金及び現金同等物の期末残高	7,995	8,052

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、合算掲記していた「流動負債」の「支払手形及び買掛金」は前連結会計年度および当連結会計年度ともに「支払手形」の残高が無いため、当連結会計年度より「買掛金」に科目名を変更しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、食品の製造販売を行っており、その活動は、外食、中食、家庭内食と多岐に渡り、商品、サービス、業態区分による、事業部制により運営されております。これにより報告セグメントについては、以下の5つとしております。

各事業部の主な事業内容

<精肉事業>	精肉類の製造小売事業
<惣菜事業>	惣菜、弁当類等の製造小売事業
<和菓子事業>	和菓子類等の製造小売事業
<レストラン事業>	レストラン店舗の運営
<食品事業>	しぐれ煮の製造・卸及び小売事業

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益の数値であります。

セグメント内の内部売上高または振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2024年5月1日 至 2025年4月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額(注)2	連結財務 諸表計上 額(注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
顧客との契約か ら生じる収益	13,809	12,817	6,634	1,345	1,494	36,101	3	36,104	—	36,104
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	13,809	12,817	6,634	1,345	1,494	36,101	3	36,104	—	36,104
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,656	11	43	7	1,044	2,763	—	2,763	△2,763	—
計	15,465	12,828	6,678	1,353	2,539	38,865	3	38,868	△2,763	36,104
セグメント利益 又は損失(△)	777	1,172	389	△1	143	2,481	△0	2,480	△980	1,500
セグメント資産	3,264	1,963	2,329	1,347	774	9,679	—	9,679	9,516	19,196
その他の項目										
減価償却費	238	146	145	28	36	595	—	595	30	626
減損損失	99	48	65	—	—	212	—	212	—	212
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	336	201	190	376	34	1,139	—	1,139	8	1,148

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△980百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,002百万円及びその他調整額21百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額9,516百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。資産は、当社での余資運用資金(現金及び預金)及び管理部門にかかる資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額30百万円は、全社資産にかかる減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額8百万円は全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額(注)2	連結財務 諸表計上 額(注)3
	精肉事業	惣菜事業	和菓子事業	レストラン 事業	食品事業	計				
売上高										
顧客との契約か ら生じる収益	13,573	12,821	6,852	1,298	1,525	36,072	—	36,072	—	36,072
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	13,573	12,821	6,852	1,298	1,525	36,072	—	36,072	—	36,072
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,843	21	47	8	1,068	2,989	—	2,989	△2,989	—
計	15,417	12,843	6,900	1,307	2,593	39,062	—	39,062	△2,989	36,072
セグメント利益 又は損失(△)	1,020	916	388	△21	99	2,403	—	2,403	△977	1,426
セグメント資産	3,336	1,984	2,282	1,236	788	9,628	—	9,628	9,851	19,480
その他の項目										
減価償却費	192	153	142	57	36	581	—	581	28	610
減損損失	—	7	44	0	—	51	—	51	—	51
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	74	184	100	20	36	415	—	415	31	447

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△977百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,025百万円及びその他調整額47百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額9,851百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。資産は、当社での余資運用資金(現金及び預金)及び管理部門にかかる資産等であります。
- (3) 減価償却費の調整額28百万円は、全社資産にかかる減価償却費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額31百万円は全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

**【関連情報】**

前連結会計年度（自 2024年5月1日 至 2025年4月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度（自 2025年5月1日 至 2026年4月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度（自 2024年5月1日 至 2025年4月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年5月1日 至 2026年4月30日）

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度（自 2024年5月1日 至 2025年4月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年5月1日 至 2026年4月30日）

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

前連結会計年度（自 2024年5月1日 至 2025年4月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年5月1日 至 2026年4月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
1株当たり純資産額	1,570円68銭	1,617円93銭
1株当たり当期純利益金額	71円50銭	84円69銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年5月1日 至 2025年4月30日)	当連結会計年度 (自 2025年5月1日 至 2026年4月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	701	811
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	701	811
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,803	9,580

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

① 代表取締役の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動(2026年7月24日付)

- ・ 新任取締役候補者  
社外取締役 白鳥 和生

- ・ 役付取締役  
常務取締役 岡本 卓也 (現:取締役)

③ 委嘱事項の変更(2026年7月24日付)

新	氏名	現在
常務取締役 事業本部長	岡本 卓也	取締役 事業本部長 ㈱KHフードサービス 代表取締役社長
上席執行役員 商品部長 ㈱KHフードサービス 代表取締役社長	岩瀬 永児	上席執行役員 商品部長